

JUERGEN MAIER

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Industrialist, Chair of the Digital Catapult
- Former Chief Executive of Siemens UK



ユルゲン・マイヤーはデジタルカタパルトの議長であり、共同議長はよりスマートになり、産業戦略について政府に助言する産業戦略評議会の委員を務めています。彼は、ウェールズの水素自動車会社Riversimpleを含む技術系の新興企業やスケールアップ企業に助言しています。ユルゲンは、イングランド北部の近代的なグリーン再工業化を強く主張し、ノーザンパワーハウスパートナーシップの副議長を務めています。

ユルゲンは、2014年7月から2019年12月まで彼が務めたシーメンスUKの元最高経営責任者です。シーメンスでの33年間のキャリアを通じて、彼は英国とドイツで多くの上級職を歴任しました。

Topics

- Leadership
- Management
- Strategy

ユルゲン・マイヤーは、1986年にノッティンガムトレント大学で生産工学の理学士号を取得した大学院エンジニアとして、シーメンスが後援する大学院プログラムでシーメンスに入社しました。彼は2014年3月にマンチェスター大学で工学の名誉教授になり、2017年9月に王立工学アカデミーのフェローになりました。ユルゲンはリンカーン大学から英国科学工学への奉仕で名誉博士号も授与されました。ノッティンガムトレント、サルフォードマンチェスター、クランフィールド、シェフィールド、マンチェスターメトロポリタン。ユルゲンは、2019年の新年の荣誉リストでCBEを受賞しました。

Juergenは、英国の産業および製造業界で強力なリーダーシップを発揮しています。彼は、COVID後の新しい政治経済学の熱心な支持者です。革新と生産性をリードする「フロンティア」産業に対して、はるかに強力なリーダーシップとサポートを提供するもの。2017年、彼は政府から、英国の製造業のデジタル化を促進する方法についてのレビューを主導するよう求められました。

その後の報告は、ユルゲン・マイヤーがBEISビジネスセクレタリーと共同議長を務める、業界と政府の合同MadeSmarter委員会の創設につながりました。